# CapeOX

### 対象 結腸癌の術後補助化学療法、治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間·速度	投与日(d1,d8等)
1	オキサリプラチン	130mg/m2	DIV	2時間	Day1
2	カペシタビン	2000mg/m2/日 (コメント欄参照)	経口	分2朝・夕食後	Day1タ~Day15朝

1コース期間	3週間						
総コース数	6週間	6週間					
投与開始基準	・好中球≥1200 ・PLT≥7.5万 ・T-Bil≤2.0 ・AST、ALT≤100(肝転移:≤200) ・クレアチニン≤1.5						
減量規定•中止基準	Grade3以上の副作用(CTCAE): WBC < 2000、好中球 < 1000、PLT < 5万、 血清ビリルビン>施設上限値(1.2)の3倍 AST・ALT > 施設上限値(AST:33、ALT:男性→42、女性→27)の5倍 その他(悪心、食欲不振、神経障害などの非血液毒性)がGrade3以上 I-OHP:130mg/m2→100mg/m2→85mg/m2						
	ゼローダ投与量		ゼローダ減量時投与量	減量1段階	減量2段階		
	体表面積	1回量	1.41m2未満	900mg			
	1.36m2未満 1.36m2以上1.66m2未満 1.66m2以上1.96m2未満 1.96m2以上1	1200mg 1500mg 1800mg 2100mg	1.41m2以上1.51m2未満 1.51m2以上1.81m2未満 1.81m2以上2.11 2.11m2以上	1200mg	900mg 1200mg		
2コース目以降の投与開始基準	PS: 0-2 Grade 3以上の副作用がない: 白血球: 2000/mm3以上 好中球: 1000/mm3以上 血小板: 5万/mm3以上 AST/ALT: 施設上限値の5倍以下 T-Bil: 施設上限値の3倍以下 その他(悪心、食欲不振、神経障害などの非血液毒性)がGrade 3未満						
コース間での休薬の規定	投与開始基準を満たしてい	投与開始基準を満たしていること					
投与量の増量規定	なし	なし					
注意すべき副作用	Grade3以上の副作用 下痢(20.2%) 手足症候群(6.1%) 好中球減少(6.9%) など						

# CapeOX

1コース期間 : 21日間

所要時間:2時間30分

ルート	Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与速度	投与時間	d1	
主管		カイトリルバッグ 100mL デカドロン 3.3mg ★イメンドカプセル 内服		div	400ml/hr	15min	0	
		5%ブドウ糖 500mL オキサリプラチン 【 】mg デカドロン 3.3mg	130 mg/m²	div	250ml/hr	120min	0	
	3	生食 50mL		div	200ml/hr	15min	0	
内服薬	4	ゼローダ	2000mg/m2/日 (コメント欄参照)	経口	1日2回 朝・夕食後		day1夕~day15朝	

#### コメント

- ・day1:イメンドカプセル125mg、Day2、3:イメンドカプセル80mg 内服
- ・嘔気コントロール不良時は、カイトリル⇒アロキシへの変更を考慮。
- ▼初回投与時、保湿剤ヒルドイドクリーム処方。症状に応じてステロイド外用薬(リンデロンV軟膏®)の処方を検討。

#### ゼローダ投与量

体表面積	1回量
1.36m2未満	1, 200mg
1.36m2以上1.66m2未満	1,500mg
1.66m2以上1.96未満1.96未満	1,800mg
1.96m2以上	21,00mg

Reference:		